

OneWelfare教育研究センター (仮称) キックオフシンポジウム

「ワンウェルフェアとデータサイエンス」

日時：01月12日 (木) 13:00～14:30

場所：獣医研究科棟4F 大講義室

1. 阿部 真育 先生

山口県立大学国際文化学部 国際文化学科 准教授

「データサイエンスの社会実装の在り方

- 動物由来感染症リスクマネジメントの事例を交えて -

1956年に人工知能という言葉が、さらに1974年にデータサイエンスという言葉が提唱された。提唱されてからまだ半世紀程度しか経過していないにもかかわらず、既に様々な人工知能技術が社会実装されつつある。近年の急速な発展は、物理的なハードウェア技術の向上に依る所が非常に大きい。現存するハードウェアの構造的な限界が見え始めてきた昨今、ハードウェアとは異なるものの発展が急速に望まれてきている。本講演では、近年求められつつあるスキル等について、動物由来感染症リスクマネジメントの事例も絡めながら紹介したい。

2. 清水 隆 先生

山口大学共同獣医学部 獣医公衆衛生 准教授

「山口大学共同獣医学部のDS教育とその応用」

昨今、データサイエンス (DS) や機械学習の発展が著しく、医学・獣医学領域においても画像診断や感染症予測など、DSや機械学習の応用が広がっている。山口大学ではDS/機械学習の教育を文系を含む全学部を導入し、DS/機械学習に精通した学生の輩出を目指している。共同獣医学部ではいよいよ来年度からその教育がスタートする。本公演では共同獣医学部におけるDS/機械学習教育の概要を紹介するとともに、その応用例として我々が取り組んでいる研究を紹介したい。

連絡先：清水 隆 (5895)、度会 雅久 (5831)